

# あなたの街の 噂のお店

## きもの専門店 菅原呉服店

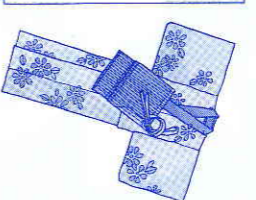
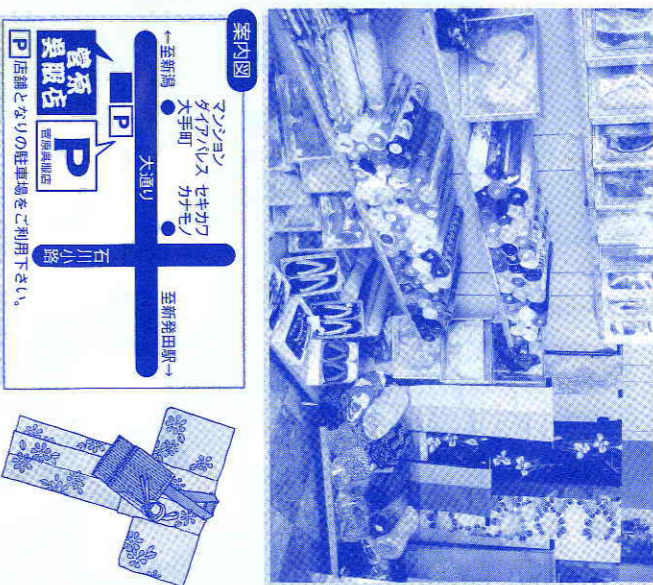
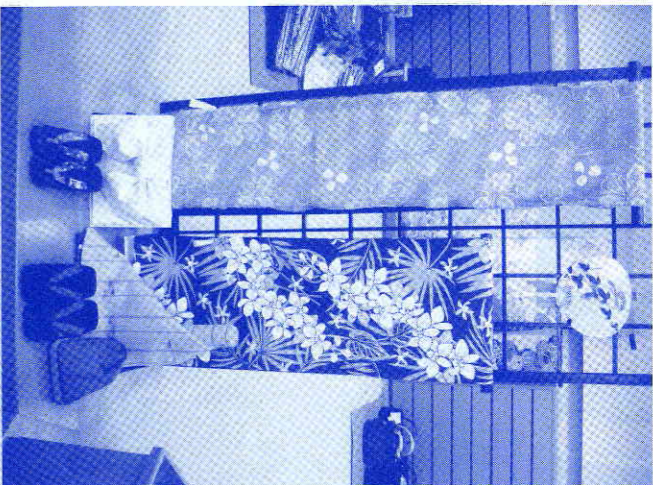
住 所：新発田市大手町1-2-16  
電話番号：0254-22-2969  
営業時間：9:00~19:00  
定休日：水曜

8月に入り各地でお祭りシーズン真っ只中です。浴衣を着て出かけてみてはいかがでしょうか？新発田の商店街にある菅原呉服店さんにお話を伺いました。

一口に浴衣と言っても、様々な模様・生地があり選ぶ楽しみもあります。お求めやすい既成品のものもあり、生地から採寸して作ることもできます。着丈・行(腕の長さ)を測り自分の体系にぴったりのものを作ることできます。下駄は桐を使い、軽くなっていて、底も平たく歩きやすくなっています。

また、帯と扇子の柄を合わせるなどのオシャレも楽しみのひとつ。  
生地から作る場合、長さの調整ができるため、成長期のお子様でも何年も着ることが可能です。

これからお祭りや花火大会など機会を作って着てみてはいかがでしょうか。和の文化に触れるいい機会になると思います。



# ふるさと の 民話紹介

Vol. ③

『都岐沙羅柵』  
～新発田市・胎内市～

塩津潟教育研究所  
所長 伊藤 國夫

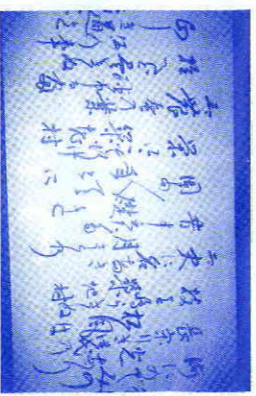
「都岐沙羅柵」については、ミニック6月号の『ひとかご山』伝説の時に少しふれた。

この「都岐沙羅柵」は、胎内市の塩津潟北辺周辺に造営されたという伝説がある。実際に、旧築地村(現胎内市)の村歌に「史に名高き月さらの～」と歌い込まれている。築地という地名にも、「つきざら」が由来しているとも言われる。旧築地村の四小学校在、平成15年4月に統合し、開校した。新しい校歌には、「史に名高き 月さらの～」という経緯が歌い込まれている。作詞は、芳我矢一博士と同じ国学院大学の先生である。

都岐沙羅柵は、天明4年7月4日(日本書記26)に記述してある城柵の一つである。大和朝廷は、新潟県に城柵を三つ造ったという説が有力である。日本書記に、淳足柵は647年・磐舟柵は648年・都岐沙羅柵は658年と記述してある。

この伝説が、真実性を増してきている。その理由は、いくつか考えることが出来る。

第一に、旧築地村に「史に名高き月さらの 昔すえたる礎を 固め固めて年々に～」と「月さら」が見られる。第二に、この村歌を作詞した芳賀矢一氏にある。博士は新潟県とは関係が深い。東京大学教



築地村の村歌と  
都岐沙羅柵より  
塩津潟 芳賀矢一博士

# 街のワロが 教える 簡単水料理

## 夏の陣物 とろろてん を作ってみよう

材 料	
天草……………	70グラム
水……………	3リットル
お酢……………	大さじ1杯
ところん突き	

- 作り方**
- ① 天草を水で洗います。
  - ② お鍋は大きめなものを用意して水を沸かし、天草と酢を入れ強火で煮ます。
  - ③ 沸騰したら中火でどろどろになるまで煮ます。(約40分ほど、コシを強くしたければ少し長めに煮ます。注：天草は煮てなくなるものではありません)
  - ④ ざるで、こして天草を取り除き布巾などを使いさらに煮汁をこす。
  - ⑤ 煮汁を容器などに流します。煮汁がさめてくると徐々に固まってくれます。
  - ⑥ 冷え固まってきたら、適当な大きさに切りとろろてんが浸るよう水に浮かべ冷蔵庫に保存してください。(3～4日持ちます。)
  - ⑦ とろろてん突きで器に押し出し、お好みにより黒蜜もしくは三杯酢でお召し上がりください。

塩谷蒟蒻店 新発田市御幸町1-1-13  
☎0254-22-3532

# 加治川の 天然プール

加治川の天然プールへ行っただことがありませんか？今では家族でボートやバーベキュー道具などを車に積んで好きな海に行くことができますが、昭和30年代は、夏休みに海に行くなんて夏休みは何度もありませんでした。その頃は、川がプールでした。学校で遊泳箇所を決めて、地域単位で指定された川の遊泳場所です。泳ぐのが日課でした。遊泳場所の整備もみんなで行いました。

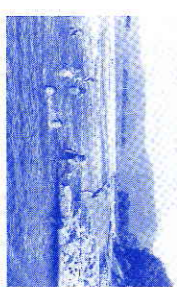
さて、天然プールといえば、その代表格は何と言っても「岡田の天然プール」です。なぜか、川なのに岡田の遊泳場所は天然プールと呼ばれていました。

川瀬勝一郎氏(調訪町)によると、この天然プールは「明治22年の岡田の瀬替えによって、自然にできたとのこと。また、いつの頃から天然プールと呼ばれたかは定かではないが、昭和初期には既に天然プールと呼ばれていたそう。その当時、現在の西公園の場所に新発田唯一の人工プールがあり、それとの対比で、「天然プール」と呼ばれるようになったよう。

明治、大正、昭和、そして平成の今日も天然プールは子供たちにとって自然のフレイドです。泳ぐのはもちろん、石で遊んだり、魚を捕ったり、海とは違って川の遊びは想像力をかき立てます。災害や河川工事などの影響もあってか川で遊ぶ機会は少なくなりました。しかし、山や川は少年期の想像力と英知を育んでくれます。天然のプールは新発田市の公認プールです。全国でも珍しく、その自然環境や資源を考えてもとても豊かな文化です。岡田の天然プール、ずっとみんなに愛され、親子が触れあえる場所であって欲しいものです。

# 私の加治川「写真募集」

あなたにとっての加治川に関する1枚、ぜひ応募下さい。  
詳しくは、「私の加治川」実行委員会  
〒957-0053 新潟県新発田市中心町3-13-3  
新発田地域交流センター内  
TEL0254-22-1254 (受付時間/9:00~17:00)  
http://www.van-rainet/kajikawa/  
応募締め切り 平成19年9月30日



私の加治川・前回は募作品より